事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年06月22日（火）

事務事業	予防事務	担当課	花園消防署	担当係	花園消防署	管理番号	4529
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政施策分野別名 計画 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	・消防法 ・建築基準法 ・行政手続法 ・深谷市火災予防条例				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	予防事務とは、火災を未然に防止するため、また災害から市民の生命、身体及び財産を保護するために、防火対象物の関係者に対し、消防用設備等の設置や維持管理、防火管理に関する指導、検査並びに査察業務を実施している。
目的 ※何のために	市民の生命、身体及び財産を火災から保護するため。
対象 ※誰・何を対象に	防火対象物及びその関係者、市民等。
手段 ※どのように	消防法第４条に基づいた立入検査を実施し違反是正を行う。また、新設や増築等の防火対象物を対象に、同法第１７条に規定する消防用設備等の設置、維持がなされているか指導、検査を行う。
成果 ※何を求めるか	継続した防火管理体制の構築を推進し行政指導を実施することにより、防火対象物の安全性を確保し、関係者自らの防火意識を高める。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0

本事業の主な業務	
・ 圧縮アセチレンガスその他政令で定める物質の届出に関する事務	・
・ 深谷市火災予防条例の規制に関する事務	・
・ 建築物の許可、認可又は確認に係る同意に関する事務	・
・ 消防用設備等の設置及び防火管理の指導に関する業務	・
・ 査察業務	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数（人）	0.60	0.60	1.00	0.80	0.80	0.80
	人件費相当試算 ※１	4,667,400	4,669,200	7,861,000	6,508,800	6,508,800	6,508,800
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		4,667,400	4,669,200	7,861,000	6,508,800	6,508,800	6,508,800

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	管内防火対象物数	目標値	棟							■
			実績値		723.00	783.00	816.00	841.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		現時点での棟数であり、目標値の設定に値しない。							
		花園消防署が管理する防火対象物									
□	活動指標２	係内講習回数	目標値	回	12.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	□
			実績値		12.00	6.00	6.00	6.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年間計画に基づいた目標値とする。							
		花園消防署管内各署所×２									
■	成果指標１	消防検査実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		法令により、検査義務のある防火対象物１００％の実施とする。							
		実施建物／検査義務建物×１００									
■	成果指標２	改善結果報告書提出率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		86.00	95.00	86.00	90.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		査察を実施、指摘事項の改善報告書１００％の提出を目標とする。							
		提出数／査察時指摘件数×１００									
□	成果指標３	改善結果報告書未提出件数（累計）	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		10.00	1.00	8.00	8.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		指摘事項のあったすべての対象物からの改善報告書の提出を目標とする。							
		査察時指摘件数－改善結果報告書									
□	成果指標４	管内防火対象物火災件数（暦年）	目標値	件							■
			実績値		3.00	3.00	8.00	3.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		火災件数であり、目標値の設定に値しない。							
		花園消防署管内防火対象物火災件									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 係内講習会は計画通り実施することができ目標数を達成できた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 消防検査実施率は目標を達成できた。改善結果報告書提出率は、平成３１年度よりも上回っているが目標値に達していないので、今後も提出の依頼や再査察を実施していく必要がある。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
		評価者　管理係長　南　陽二

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	改善結果報告書の提出率向上に向け、未提出の事業所に対して粘り強く提出依頼を行うとともに、必要に応じ再度査察を実施していく。 消防検査や係内研修は現状を継続して行う。また、拡大された査察可能床面積の防火対象物に設置される消防設備等の知識も習得していく。
達成状況 及び その効果	査察業務は継続して実施したが、改善結果報告書の提出率は目標値を達成できなかった。今後は、提出率の向上を目指し、防火意識の向上を促す。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	予防事務	担当課	花園消防署	担当係	花園消防署	管理番号	4529

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 → ■ 成果向上のための改善
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
■ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

改善結果報告書の提出率が１００％に達していないので、提出率の向上を目指し業務を進めていく。
昨年度から消防署の査察可能床面積が拡大したことで、査察知識をはじめとしたスキルの向上が必要と考える。

評価者	花園消防署長兼花園消防課長　江原　正明

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

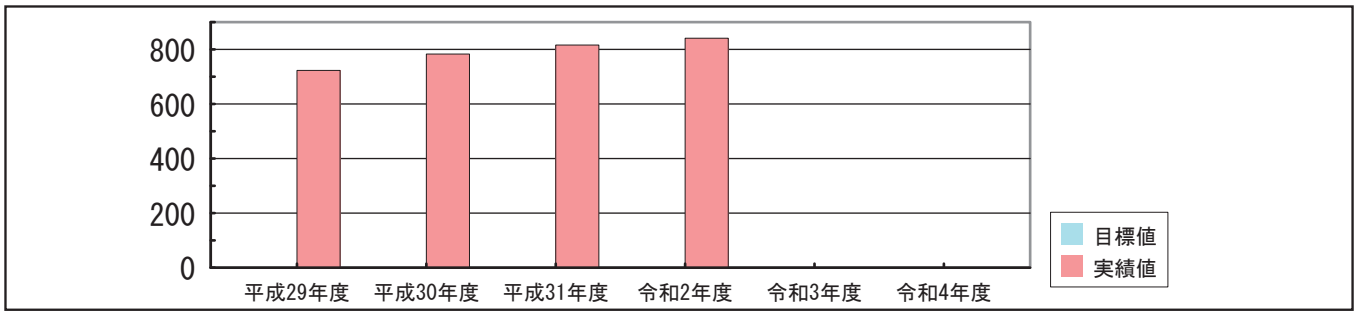
改善・改革案	消防検査や係内講習は継続して行い、改善結果報告書の提出率向上に向けて、事業所への提出依頼を徹底し再度、査察を実施する等の対応を行う。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

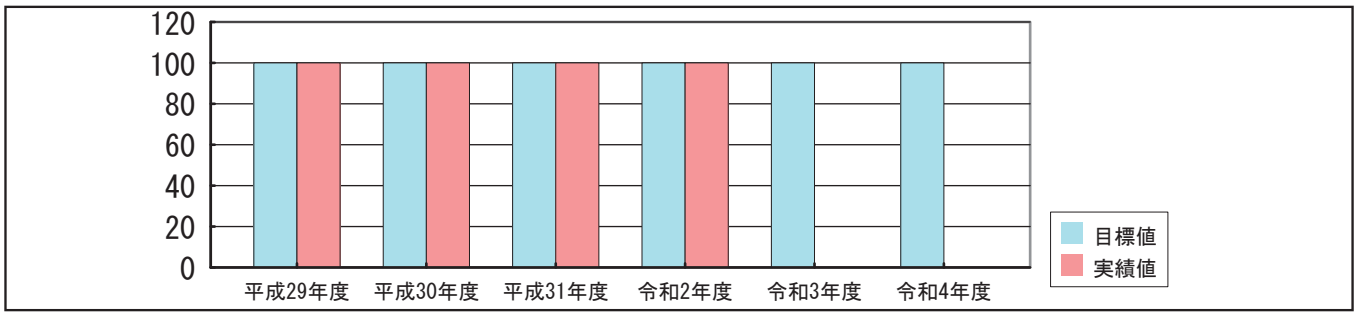
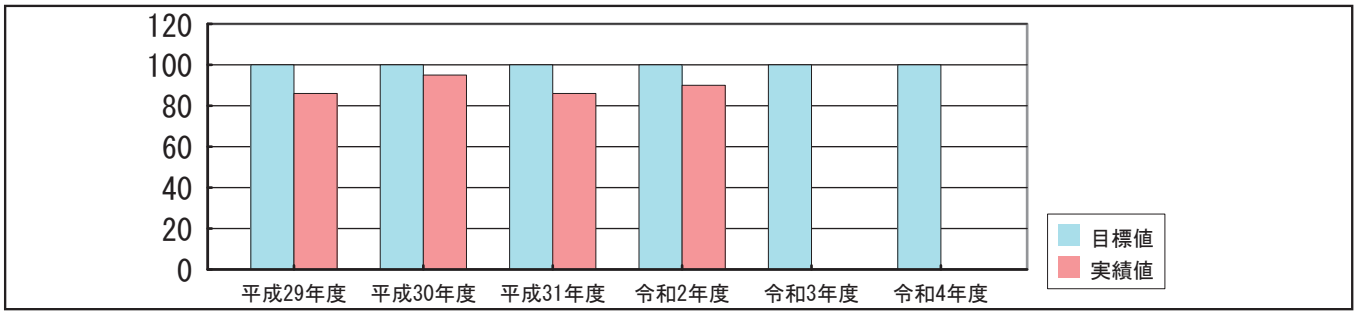
今後の課題	消防署の査察可能床面積が拡大したことにより、係内講習会でより高度な査察知識や技術を身に着け査察率、改善結果報告書の提出率の向上を目指す必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	管内防火対象物数



区分	成果指標１	指標名	消防検査実施率



区分	成果指標２	指標名	改善結果報告書提出率